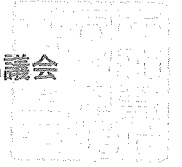


2021年6月2日

小松市

宮橋 勝栄 市長殿

南加賀社会保障推進協議会



新型コロナウイルス感染症予防対策として、医療・介護福祉労働者への定期的頻回 検査の実施および、学校給食無償化への要望書

拝啓

貴殿におかれましてはますますご清栄のことと存じます。住民に開かれた行政のために労を惜しまぬご尽力に心から敬意を表します。

さて、深刻なコロナ禍により住民の暮らしと営業をめぐる環境は深刻な状況が続いています。住民の暮らしは厳しくなり、将来不安を感じる人が増えています。暮らしを安定させていくためにも、住民の多くは、国や自治体に「医療・福祉・介護・年金制度の充実」を求めています。そして安心して暮らし続けられる地域づくりの要望も高まっています。

私たち南加賀社会保障推進協議会は、安心して暮らし続けられる地域づくりのためには、主人公である住民と住民の健康・生命・暮らしに責任をもつ自治体とが協力・共同して、その地域の特性を生かしたサービス・制度をつくりあげることが重要であると考え、毎年秋に県内すべての自治体へ住民要求を集めた要望書と担当者との懇談を実施して、これまでも多くの制度改善に結びつけてきました。

この度の小松市長選挙では、新しい小松市のビジョンが多くの市民の共感を得られたと思われます。とりわけ子育て支援やスピード感を持った新型コロナ対策、医療の充実は、私どももこれまで継続して取り組んできた運動とも共通する部分もあり、ぜひとも具体化、実施に向けた指導力を発揮していただきたいと願っております。

新型コロナウイルス感染第4波が猛威を振るう中、県内での医療機関や福祉施設におけるクラスター発生も拡大しており、「石川県緊急事態宣言」と「まん延防止等重点措置」が発令される事態となっています。住民のいのちと健康を守るためには、広島県で実施しているようにPCR検査の定期的、頻回検査を住民や、とりわけ医療機関、介護・福祉施設等への検査で医療提供体制を守ることが不可欠です。

また、学校給食費の無償化は私どもも毎年要望しているところであり、市長の公約としてぜひとも実現していただきたく以下を要望いたします。

敬具

記

1. すべての住民と医療機関、介護・福祉施設等へのPCR検査の定期的、頻回検査を実施してください。
2. 学校給食無償化を実現してください。

以上